

政策カルテ

1. 政策の位置づけと目標

		主管課	生涯学習課
政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	取組の基本方向	「生涯にわたる学習活動を促進する」ため、地域での学習活動を通してまちづくりなどに貢献するための「社会をつくる人づくりの推進」、地域全体で子どもを育成していくための「家庭・地域の教育力の向上」、市民の主体的な生涯学習活動を促進するための「生涯学習活動への支援充実」に、重点的に取り組みます。
政策名	1 生涯にわたる学習活動を促進する	政策目標	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲をもって地域のための活動に取り組んでいます。

2. 政策を取り巻く環境と進捗状況

① 政策を取り巻く環境	国・県等の動向	平成20年中央教育審議会の答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」において、国民一人ひとりの生涯にわたる学習活動のためには多様な学習機会の充実及び適切な提供が必要であり、またその学習成果を家庭・地域の教育力の向上や社会全体の発展へとつなげていくことが重要であるとの提言がなされている。	② 構成する施策に関する市民意識調査結果		③ 政策の進捗状況	政策指標(単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	進捗状況(%)	
	外部意見その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年3月、市議会的一般質問により、地域社会を支える人づくりを着実に実現するための体制づくりが必要であると指摘を受けている。また、放課後における子どもの居場所づくりなど、地域ぐるみで子どもを育む取組の重要性について指摘を受けている。</li> <li>平成22年12月、市議会的一般質問により、生涯学習を通して学んだ成果を地域資源として地域に発信し、循環させることが必要であると指摘を受けている。</li> <li>平成22年7月、社会教育委員の会議の答申として、成人教育の推進の必要性が示されている。</li> </ul>				指標① (総合計画に基づく指標)	自分に合った学習の場や機会を得ることができていると感じている市民の割合	36.1	30.6	36.5	36.7	48.0	76.5%	
						指標②								
						指標③								

3. 政策の評価

④ 現状と課題の分析	成果が見られる点	政策指標の進捗状況は76%となっており、また、各施策の状況についても、施策指標のうち「全生涯学習センターで開催される講座・事業への延べ参加者数」及び「放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数」、「地域教育メッセ出展団体数」が目標値を大きく上回っている。その他の施策指標についても一定の高い数値を示しており、各種講座等による学習機会の提供や地域教育推進体制の整備などに取り組んできたことで、市民の学習活動や社会活動の促進に着実に成果を上げている。	⑤ 今後の取組方針	総論	地方分権の考え方が浸透する中、自立した地域社会を形成するためには、個人のための学習支援を継続するとともに、社会を支える人づくりに関する施策事業や意識醸成に積極的に取り組み、「地域で学び、地域で育て、地域をつくる」地域教育を着実に推進していく必要がある。今後は、地域教育の中核となる成人教育の推進や、地域に貢献できる人材の育成、学んだことを地域での活動につなげる仕組みの構築などに重点的に取り組んでいく必要がある。
	改善の必要な点	政策目標の実現のためには、市民一人ひとりが地域を支える一員だと自覚し、次代を担う子どもたちや地域のために活動することが重要であるが、市民意識調査結果においては、「社会をつくる人づくりの推進」に対する市民の重要度があまり高くない状況にある。また、政策指標の進捗状況は一定のレベルに達しているものの、年度ごとの数値の変化は微増に留まることから、地域教育について市民の意識の醸成を図るとともに、学習成果を生かす機会の更なる充実や、人と地域をつなげる仕組みづくりを進めることが必要である。		重点施策	市民の学習ニーズに対応した多様な学習機会を提供してきたことなどにより、「生涯学習活動への支援充実」についての取組は概ね充足してきたことから、今後は「社会をつくる人づくりの推進」と「家庭・地域の教育力の向上」に重点的に取り組んでいく。特に、人材かがやきセンターを拠点とする地域人材の育成や、生涯学習コーディネーターの活躍機会の充実、地域人材バンクの整備、家庭・学校・地域・企業の連携強化に向けた仕組みづくりなどを一層推進していく。

4. 政策を構成する施策一覧

No.	施策名	施策の達成状況				施策の二次評価		市民の意識		
		施策の指標(上段:総合計画に基づく指標) (下段:その他の指標)	H19:基準	H22	H24:目標	進捗状況	満足度	重要度		
1	社会をつくる人づくりの推進	全生涯学習センターで開催される講座・事業への延べ参加者数	30,814	39,616	34,000	116.5%	総論	施策に対する市民の意識は、満足度・重要度ともあまり高くないことから、施策の重要性等について市民の意識醸成に努めるとともに、地域社会に貢献できる人づくりを着実に推進していくこと。	21.9%	51.5%
		マナビスの登録件数(講座)	—	1,604	2,000	80.2%	重点事業			
		マナビスの登録件数(団体・講師)	—	2,341	2,500	93.6%	見直し事業			
2	家庭・地域の教育力の向上	放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数	92	7,988	4,680	170.7%	総論	市民が豊かな人間性を育むためには、家庭・地域の教育力の向上が不可欠であることから、家庭教育への支援や、家庭・学校・地域・企業・行政が一体となって子どもを育む仕組みづくり、必要な人材育成などの取組を更に推進していくこと。	27.2%	72.2%
		—	—	—	—	重点事業				
		—	—	—	—	見直し事業				
3	生涯学習活動への支援充実	生涯学習コーディネーターの人数	24	69	100	69.0%	総論	市民の主体的な学習活動を促進するため、生涯学習センターや図書館における事業を更に充実させ、多様化する市民の学習ニーズに対応するとともに、学習成果を生かす機会の創出を進めること。	36.3%	58.4%
		—	—	56	50	112.0%	重点事業			
		地域教育メッセ出展団体数	—	56	50	112.0%	見直し事業			